

立ち読みPDF

ローマ字で読むな!

児童英語研究所 所長

船津 洋 著

Hiroshi Funatsu

Forest
2545
Shinsyo

本書を読んであなたが受け取れるメリット

.....

- ☆英語をマスターする上で、あなたに**足りない部分**が分かる！
- ☆アメリカ人の子どものように、**文法が分からなくても話すことができるようになる**！
- ☆「**意味**」ではなく「**価値**」で覚えることで、効率よく英単語数を増やす方法が分かる！
- ☆特に注意すべき「**日本語と英語の表現の違い**」が具体的に分かる！
- ☆誰でも簡単に英語が聴き取れるようになる「**リズム回路**」（単語の切り出し能力）が身に付く
- ☆**中学校で学んだ基本的な300語**で、英語が話せるようになる方法
- ☆単語を「**ビッグワード**」と「**スモールワード**」で区別することで、単語の理解を深めることができる！
- ☆「**英語アタマを作る5つのルール**」が分かる！
- ☆「**母音重視の日本語**」から「**子音重視の英語**」をマスターする方法
- ☆「**日本語にはない音を集中的に学ぶ方法**」が分かる！

はじめに あなたは、毎日、ローマ字に触れている！

本書を手にとっていただき、ありがとうございます。
突然ですが、質問があります。

あなたは、パソコンのキーボードを「ローマ字」で打ち込みますか？

きっと、ローマ字で打ち込んでいるはずですよ。多くの日本人が日本語を入力する時に、ローマ字を使っています。

そう考えると、私たちは知らず知らずのうちに、多くの時間をローマ字に接し、さらに、ローマ字を使っているのです。

実は、私はこのローマ字こそが日本人が英語を苦手に行っている要因だと思っているのです。

ローマ字は必要悪?!

.....

私たち日本人の多くは、英語を本格的に学ぶ前に、ローマ字の学習を通して、英語の文字、つまりアルファベットに触れます。この時すでに ABCD…Z をエー、ビー、シー、ディー…ゼットと、英語の本来の音とは違う発音で学びます。

この瞬間から私たちの頭には、アルファベットで書かれた英語の文字を見た時に、“ローマ字”という日本語のフィルターを通して、英語を理解しようとする基礎が作られます。

そして、その後続く英語教育では、英語の単語や文章を常に日本語に置き換えて理解する方法を学びます。

つまり、私たちが学んできたのは、英語自体ではなく、日本語を介して英語を理解する技術なのです。

実際、あなたは日本語を入力するのにローマ字を使っているわけですから。

脳の中に「リズム回路」を作るしかない！

.....

例えば、「ittsanappl イツアナポ」。

こんな音が耳に入ったとします。もちろんこれは英語です。なんだか分かりますか？

実は、この「ittsanappl イツアナポ」は“it's an apple.”を単語表記ではなく音で表記したモノです。“ittsanappl”と言う音は、英語の「リズム回路」を持っている人たちからすれば、“it's an apple.”と3つの単語に分解されて聴こえるのです。

そう、この「リズム回路」を作ることができるようになるかが重要なのです。

「リズム回路」とは、単語の切り出し能力のことをいい

ます。例えば、赤ん坊にとって日本語は、最初はわけの分からない単なる音の連続ですが、繰り返し音を耳にしているうちに、何度となく耳にする音の固まりがあることに気づきます。もちろん、私たちは日本語の「リズム回路」を持っているわけです。

これが単語の発見です。私たち大人も同じです。知らない言語でも繰り返し聴いていれば、聴き覚えのある音の固まりを発見できます。

つまり、英語の「リズム回路」を作り、「It's an apple.」という3つの単語に切り出す能力を習得しなければ、いつまでたっても英語を話すことはできないのです（もちろん、本書では「リズム回路」の作り方を解説します）。

日本にいてバイリンガルになる子どもたち

.....

私は児童英語研究所という会社を経営し、幼児や児童が英語を身に付けるお手伝いをさせていただいております。私が指導させていただいている子どもたちの多くは、日本にいながらにして、バイリンガルに育っています。

そのことから考えると、“日本人は英語が苦手”などは、一概に言えないような気がします。

ただ、子どもたちを指導していて、とても気になることがあります。例えば、私が指導しているお子さんの母

親からこんなお話を聴きました。

「うちの子は赤のレッドをウレッド、ウレッドと発音するんです。私はもう聴きかねて、ウレッドじゃなくてちゃんとレッドと言いなさいと、発音を直させました」と言うのです。

日本人は英語が苦手なわけがない？

.....

red の発音は最初に口をすぼめ、舌を緊張させます。その時小さく「ウ」の音が発せられるのです。そして、そのまま舌先を口蓋こうがいに触れさせることなく「レッド」と発音します。

しかし、この母親は red の発音を知らなかったのです。もちろん聴き取ることもできません。そこで、子どもが折角正しく red を発音しようとしているところを、わざわざ led の発音に変えてしまっているのです。このような悲しいことは日常的に起っているのです。

しかし、この母親には何の罪もありません。彼女は、自分の子どもが英語をちゃんと話せるようにと、自分が教わってきた方法で、英語を教えているだけだからです。

では何が問題なのかと言いますと、その“教わってきた方法”に問題があるのです。

そして私に言わせれば、日本人は決してもとから英語が苦手ではない。英語が苦手にさせられているのです。

その始まりが小学校の国語の授業で教わるローマ字であり、それに続く中学からの英語教育なのです。

あなたは、もう単語を覚える必要はない！

.....

しかし、日本の英語教育でも良い点があります。それは、受験英語を経験してきている日本人は、(すごく簡単な)基本的な単語も含めて、日常英会話に必要な単語数を知っているのです。

中学まで行っていれば、すでに 1000 単語くらいは知っているのです。英語圏の幼児を見ていれば分かりますが、300単語程度でも十分会話はできるのです。

「英単語使用頻度順リスト」という日常の筆記活動における使用頻度順に単語が羅列されているリストがありますが、ほとんど見覚えのあるものばかりです。

要するに、あなたはアメリカ人たちが日常的に使用している単語のほとんどをすでに知っているのです(ただし、単語の覚え方にも工夫が必要です。詳しくは第6章で解説しますが、「ビッグワード」と「スモールワード」という考え方が重要になってきます)。

本書では、ローマ字が入り口となってしまっている日本の英語教育を通して、私たちが英語だと思っているものが、いかに間違っているかを検証し、さらにはこの呪^{じゅ}

縛^{ぼく}から抜け出して、本当に使える英語を身に付けるためにはどうすれば良いかを明らかにしました。

もしあなたが、「私は英語が苦手だから」と思っているとすれば、それはあなたのせいではありません。むしろ、それはあなたが素直に教えられたことをやってきた結果なのです。

第1章では、「なぜ、ローマ字がいけないのか？」を説明します（パソコンをローマ字入力している人は特に読んで下さい）。

第2章では、「なぜ、日本人は英語を勉強しても使う英語にできないのか？」を説明します（「学校で学ぶ英語」と「本物の英語」の違いが分かり、どうやって勉強すればいいかが分かります）。

第3章では、「効率的に英単語を覚える方法」を紹介し、ます（英単語は「意味」ではなく「価値」で覚えます）。

第4章では、「注意すべき日本語と英語の違い」について説明します（日本人が間違いやすい表現が分かります）。

第5章では、「英語が簡単に聴きとれるための『リズム回路』の作り方」について説明します（「リズム回路」という英語の音や単語を切り出す能力を身に付けることができます）。

第6章では、「ビッグワードとスモールワード」について説明します（アメリカ人の子どものように、基本的

な 300 語で英語が話せるようになります)。

第7章では、「英語アタマを作る5つのルール」について紹介します（大人だって遅くない！ 英語マスター法で「英語アタマ」を身に付けましょう）。

第8章では、「母音重視の日本語に対して子音重視の英語の発音」を説明していきます（より聴き取り、発音できるような方法です）。

第9章では、「日本語にはない英語の発音を学ぶ方法」を紹介します（正しい発音を知ることであなは「使える英語」を身に付けられます）。

本書を通してひとりでも多くの、「私は英語が得意だ」と言える日本人が増えることを、私は願ってやみません。

船津 洋

もくじ

本書を読んであなたが受け取れるメリット ————— 3

はじめに

あなたは、毎日、ローマ字に触れている！

ローマ字は必要悪?! ————— 4

脳の中に「リズム回路」を作るしかない! ————— 5

日本にいてバイリンガルになる子どもたち ————— 6

日本人は英語が苦手なわけがない? ————— 7

あなたは、もう単語を覚える必要はない! ————— 8

第1章

ローマ字が英語修得の壁になっている！

～ローマ字を勉強すると、英語ができなくなる理由～

ローマ字って一体何? ————— 20

ローマ字は中学からの英語に便利? ————— 21

「ん(n)」と「ん(m)」の違い ————— 22

ローマ字のルールは意味がない ————— 23

英語の発音を教えてもらえない日本人 ————— 25

「英語は読めば分かる?」 ————— 26

日本人は英語の読解力がある? ————— 28

英語の読解力とは？	30
2時間の映画を原書で読むと、2カ月かかる！	31
イメージが湧かない読書	32
英文和訳こそが「英語」という古い教育システム	33
上手く日本語に訳すことしか考えていない	35

第2章

日本人が勉強している英語の正体 ～「使える英語」が学べない学校教育の問題～

英語を勉強する理由	38
受験英語というものの正体	39
受験英語で苦勞する日本の学生	40
高校1年生までに「英検準1級をとりなさい」	42
大学受験だけのための「中高6年間」英語	44
アメリカの小学生が知らない英文法	46
英語は絶えず変化している！	47
暗記しなくても「英語」ができる！	48
ボブ・ディランもエリック・クラプトンも間違い	50
文法は知らなくても話せる！	52
アメリカの子どもはセンター試験で高得点がとれる！	53
英語は読んでも分からない、聴き取れても分からない	54

第3章

単語帳は作るな！

～単語は「意味」ではなく、「価値」で覚えなさい！～

英語を日本語に訳すことの限界	58
直訳では意味が通じない・分からない	59
1つの単語のすべての意味を覚えるのは不可能	61
イディオムは丸暗記するな！	61
ニュアンスの違いは意味が違う	63
語義と価値の違い	65
日本語訳に変換するな！	66
She went crazy.	68
価値さえ理解すればいい！	70
give は、「はい、どうぞ」	70
「お手上げ」と「降参する」の違い	71
英語はニュアンスで理解する	73

第4章

英語は日本語に訳せない？

～知るだけで英語力がアップする英語と日本語の違い～

和文英訳の問題点	76
飲むという言葉のマジック	76

あなたは何を我慢しますか？	78
ケーキが襲ってくる？	79
日本語は感情がつきもの、英語は論理がつきもの	80
いただきますは何て言うの？	82
「ある」日本語と「する」英語	84
日本人はすぐに be 動詞を使おうとする	86
ここのランチは安くて、おいしい	87
彼らは安くておいしいランチを提供する！	88
和文英訳は意味がない？!	90

第5章

まずは「リズム回路」を作ろう

～幼児に学ぶ「単語の切り出し能力」の鍛え方～

日本語アタマと英語アタマ	94
子どもは簡単に英語アタマを身に付ける	95
未知との遭遇	96
リズム回路こそがカギ	98
単語の意味は1つだけではない	99
たった250語で文法をマスター	101
努力はしない	102
言語回路には2つある	104
言語はイメージ	105
大人には右脳の言語回路はない？	107

英語アタマの正体	108
英語は英語で考えよう	110

第6章

300 語で話せる！ もう単語を暗記しなくていい！ ～「ビッグワード」と「スモールワード」は区別する～

英語が苦手だけど、英語を話したい！	114
社会人にも「英語」は必要！	115
留学生は3、4カ月で英語を身に付ける？	116
英語アタマを身に付ける学習法がある！	118
ビッグワードとスモールワード	119
ビッグワードは日本語訳とペアで覚える！	120
1,000 単語で日常生活の9割がカバーできる！	122
たった300単語で「英語アタマ」は身に付く	124

第7章

「英語アタマ」を作る5つのルール ～幼児英語教育のプロが教える！大人のための英語マスター法～

成功者に学ぼう	128
アメリカの子どもたちに学ぶしかない！	129
言語獲得の環境にいるか？	130

リエゾンという厄介なもの	134
多読	137
5つの多読ルール	138
知らない単語も我慢が大切	140
状況が許すかぎり音読しよう！	143
文中の区切りにフォーカスする	145
5つのルールで「英語アタマ」が身に付く	146
多読の本はストーリーが分かるものを選ぼう	148

第8章

日本人が聴き取れない理由

～母音重視の日本語と子音重視の英語の聴き分け方～

リスニング教材を聴いても意味がない？	152
英語ができると勘違いしていた学生時代	154
全く聴き取れない！	156
英語が分からないままの留學生活	158
ある日、突然英語が聴こえた！	160
英語を話すのが楽しくなる	162
「リズム回路」が身に付く人と身に付かない人	163
3、4カ月でリスニング能力を身に付ける	165
正しい発音の重要性	167
空気が読めない?!	169
日本人は母音で発音してしまう	171